

報道関係者各位

ロイヤルエンフィールドジャパン
(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)
2024年12月1日
PCI-RE2024022

ROYAL ENFIELD カスタムバイク「SAMURAI」を ヨコハマ ホットロッド・カスタムショー 2024 で世界初公開

- カスタムバイク「SAMURAI」をヨコハマ ホットロッド・カスタム ショー 2024 で世界初公開
- 日本を拠点とするカスタムバイクビルダー「SURESHOT」が車両を製作
- 日本から3台目となる、ロイヤルエンフィールド公式カスタムプログラム「CUSTOM WORLD」とのコラボレーション車両



中型モーターサイクルセグメントのグローバルリーダーであるロイヤルエンフィールドは12月1日(日)にパシフィコ横浜で開催される日本最大級のカスタムカーおよびカスタムバイクのイベント「32nd Annual YOKOHAMA HOT ROD CUSTOM SHOW 2024(第32回ヨコハマホットロッドカスタムショー2024)」において、カスタムバイク「SAMURAI(サムライ)」を世界初公開します。

このカスタムバイクは千葉県八街市を拠点とするカスタムファクトリー「SURESHOT(シュアショット)」の代表である相川拓也(あいかわ・たくや)氏による製作で、SAMURAI は SURESHOT とロイヤルエンフィールドの共同ブースに展示します。

ベース車両となる「SHOTGUN 650(ショットガン・ロクゴーマル)」は 2023 年 12 月に米国ロサンゼルスで発表後、2024 年春開催の大阪・東京・名古屋モーターサイクルショーで日本初公開。8 月 31 日より国内販売が開始されました。

SAMURAI のコンセプトはコンパクト・パフォーマンス・チョッパー。一部 SHOTGUN 650 のフレームを流用し、メインフレームを相川氏がハンドメイド。特徴的なリアのループフレームはパイプ径や幅・曲げ角度などに繊細な変更を加え、新たに製作しています。

フロントフォークやトリプルツリーなどは SHOTGUN 650 のスタンダードを加工し装着、スイングアームはアルミ削り出しのオリジナル。リアショックは相川氏自身が設計したリンク式モノショック仕様とし、リアショックユニットをシート下に配置しています。

前後ホイールはアルミ削り出しのオリジナル。フロント 21 インチ、リア 16 インチとし、リアにはドラッグレース用スリックタイヤをセット。フロントはホイール中央のハブ内にディスクブレーキを内蔵したインボードディスク構造としました。

外装類はアルミ削り出しのワンオフパーツや板金パーツを組み合わせ、コンパクトな車体を造り上げています。

エンジンは排気量 648cc 空油冷 4 ストローク並列 2 気筒 SOHC のスタンダードをベースに、S&S 製ビッグボアキットを使用して排気量を 865cc にアップ。DYNOJET 製パワーコンマnderをセットし、フューエルインジェクションのセッティングおよび点火系チューニングが施されています。

SURESHOT 相川氏はシャーシダイナモを導入し、インジェクションおよび点火系チューニングにも注力。メーカーを問わず最新モデルをチューニングするほか、レーシングバイクの製作もサポート。そこで得たノウハウを活かして自社製作のカスタムバイクに吸気および点火系チューニングを施し、パワーアップとともに耐久性や快適性の向上を図っています。

SAMURAI は 2024 年 11 月 4 日に茨城県/JARI 城里テストセンターで開催されたドラッグレース選手権 JD-STAR 第 5 戦のオープントーナメント・クラスに出場。ヨコハマ ホット ロッド カスタム ショー(以下、HCS)は独創的なスタイルとその完成度を評価するコンテスト形式のカスタムショーですが、パフォーマンスを追求する SURESHOT はスタイルとともにパフォーマンスも高めていることを

証明するためにショー前にレース参戦を決断。組み上げたばかりの車体とエンジンで十分にセッティングを煮詰めることができませんでしたが、ベストタイム 12 秒 804 を記録しました。

ロイヤルエンフィールドの HCS への参加は今年で 3 回目。本ショーで、日本人カスタムバイクビルダーとのコラボレーションバイクを世界初公開するのは 2 回目になります。私たちは引き続きロイヤルエンフィールドのカスタムバイクの世界を、より多くのバイクファンに発信していきます。

HCS 2024 では SURESHOT SAMURAI のほか 3 台のカスタムバイクを展示します。

< AMS GARAGE (エーエムエス ガレージ/インドネシア) >

ベース車両は「SUPER METEOR 650(スーパーメテオ・ロクゴーマル)」。「PHOENIX(フェニックス)」と名付けられたこのカスタムバイクを製作したのはインドネシアの AMS GARAGE です。PHOENIX はギリシャ神話に登場する再生のシンボル。ハンドメイドによって仕上げられたアルミ製の燃料タンクとリアカウルが美しくつながり、そのラインが PHOENIX に似ていることから命名されました。エアサスペンションをセットしたガーターフォークやハードテールのフレームはオリジナル。その細部に至るまでハンドメイドによる装飾が施されています。



ROYAL ENFIELD

< ICON ONE THOUSAND (アイコン ワン サウザンド/アメリカ) >

ICON MOTORSPORTS(アイコン・モータースポーツ)はアメリカ生まれのヘルメットおよびモーターサイクルギアのブランドです。ストリートをテーマにカッティングエッジなデザインのアイテムを数多く発表。同時に高い安全性も確保し人気を博しています。そのアイテムの世界観をさらに拡大するために ICON ONE THOUSAND のブランド名で多数のカスタムバイクを製作しています。「Always Something」と名付けられたこの車両は SHOTGUN 650 と ICON MOTORSPORTS のユニークな美学が融合した最新作です。この Always Something は、全世界で限定 100 台が販売される SHOTGUN 650 の限定生産バージョンにも強くインスピレーションを与えました。



< CHERRY'S COMPANY (チェリーズ カンパニー/日本) >

ベース車両は SUPER METEOR 650。「CHALLENGER(チャレンジャー)」と名付け、昨年の HCS で世界初公開したカスタムサイドカーです。車両製作は CHERRY'S COMPANY。エンジンとフレームの一部にスタンダードを採用、前後サスペンションシステムやホイール・外装類・サイドカーのフレームやサイドカーボディは全てハンドメイドです。2024 年春に海を渡り、英国・フランス・ドイツなどのカスタムバイクイベントに展示されたほか、グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードにも参加。「The Hillclimb」を走りました。



< ヨコハマ ホットロッド・カスタム ショー概要 >

■名 称 : 32nd YOKOHAMA HOT ROD CUSTOM SHOW 2024
(第 32 回 ヨコハマ ホットロッド・カスタム ショー 2024)
<https://yokohamahotrodcustomshow.com>

■日 程 : 2024 年 12 月 1 日(日)

■会 場 : パシフィコ横浜
神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1
<https://www.pacifico.co.jp>

■入場券 : 前売り 4,400 円 / 当日 5,500 円(小学生以下無料)
<https://yokohamahotrodcustomshow.com/ticket-2024/>

SURESHOT 製作の SAMURAI、および ICON ONE THOUSAND 製作の Always Something は、12 月 13 日(金)から 27 日(金)まで、東京浅草にあるカフェ / ORTIGA(オルティガ)に期間限定で展示いたします。

< SAMURAI、Always Something 展示詳細 >

ROYAL ENFIELD

- 展示期間: 12月13日(金)～27日(金)
- 展示場所: ORTIGA(オルティガ) 東京都台東区雷門2-16-3(雷門より徒歩5分)
月・木・日 9:00-18:00、金・土 9:00-20:00、定休日: 火・水
- Instagram: @ortiga_asakusa

<ロイヤルエンフィールドについて>

ロイヤルエンフィールドは1901年の創業以来、美しいオートバイを作り続けている世界最古のモーターサイクルブランドです。イギリスにルーツを持ち1955年にインド・マドラスに製造工場を設立し、これを足がかりにロイヤルエンフィールドはインドの中型二輪車セグメントの成長を先導してきました。ロイヤルエンフィールドは魅力的で、シンプルで、親しみやすく、乗るのが楽しい、探検と自己表現のための乗り物です。これは私たちがPure Motorcycling(ピュア・モーターサイクリング)と呼ぶアプローチです。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには2024年8月に日本でも発売したカスタムスピリットの真髄とも言える「SHOTGUN 650」、90年に渡る伝統を継承した新たな「BULLET 350」、アイコン的な単気筒モデル「CLASSIC 350」、前後17インチキャストホイールのスポーツモデル「HUNTER 350」、スモールクルーザー「METEOR 350」、並列二気筒エンジンを採用した「INT650」と「CONTINENTAL GT650」、60年にわたるクルーザーのDNAが凝縮された「SUPER METEOR 650」、新設計で同社初の水冷エンジンが搭載されたアドベンチャーツアラー「NEW HIMALAYAN」、などがあります。ライダーと情熱的なコミュニティは各地方、地域、国際レベルで開催される豊富なイベントによって育まれています。特に、毎年インド・ゴア州で開催し何千人ものロイヤルエンフィールド・ファンが集まる「MOTOVERSE」や、もっとも過酷な地形と最高峰の峠を越える巡礼の旅、「ヒマラヤ・オデッセイ」などは有名です。

Eicher Motors Limited(アイシャーモーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に2,100以上の販売ディーラーを、また世界60カ国以上に約850の販売ディーラーを展開しています。またロイヤルエンフィールドは、イギリスのブランディングソープとインドのチェンナイの2箇所に、テクニカルセンターと呼ぶ先進的な開発部門を有しています。そしてチェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルの2箇所に、最新鋭の生産施設を持つ工場も有しています。インド国外に目を向けると、ロイヤルエンフィールドは、ネパール、ブラジル、タイ、アルゼンチン、コロンビアの5ヶ所に最新のCKD(コンプリート・ノックダウン: 製造国から車両すべての部品を輸入、現地で組み立てて完成車とする方法)組立施設を有しています。

報道関係者向け画像ダウンロードサイトはこちら。

<https://www.royalenfield.co.jp/download/>

ロイヤルエンフィールドのブランドやモーターサイクルに関する詳細は下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.royalenfield.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先: ロイヤルエンフィールドジャパン(総輸入発売元: ピーシーアイ株式会社)

<https://www.royalenfield.co.jp>